



とよおか

第 19 号

平成15年4月30日

議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷株



シルバークッキングより

3月定例会

退任あいさつ・3月定例会の概要	2～3
予算特別委員会の様子	4～5
一般質問の様子	6～9
委員会だより	10～11
私の一言・広域連合議会様子・編集後記	12



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています

3月定例会の概要 予算審議

地方交付税前年度比12.2%の減

◆一般会計

三月定例会は十五年度当初予算審議と十四年度一般会計補正予算、特別会計補正予算の審議が行なわれた。条例制定では特別職報酬に関するもの、意見書では「イラク問題の平和的解決に関する意見書」を政府関係機関に提出することになった。

長期の不況により国の税収が大幅な減のなかで、地方交付税も税収不足となり、豊丘村新年度予算も地方交付税は十四億九千四百五十六万六千円で前年度比二億七千九百九十七万七千円（十二・二％）の減となった。しかし地方交付税と同様の性格をもつ臨時財政対策債は二億九千万円（前年度一億四千万円）となっており交付税減の影響は五千七百万円ほどになっている。

主な特徴としてはケーブルインターネット接続関連工事費三千八百万円、一般廃棄物処分場建設費四億六千九百六十五万三千円、農業費では元気農業支援事業補助事業には二百万円と新規の事業がいくつかある。

◆国民健康保険特別会計

大きな比率を占めていた保健への拠出金の増加は制度改正で一定の歯止めがかかったが、ここ数年の医療費の伸びは大きく、医療費の給付費にも影響し予想外に伸びている。

◆老人保健医療特別会計

ここ数年減税を続け、村民低所得者には一定の負担減になったが国保基金から三千四百万取崩しても、国保税を一千万円増税せざるを得なくなった。今後の村民への負担増が心配される。

◆老人保健医療特別会計

老人保健は昨年十月の制度の改定により定額負担から一割負担となり高齢者の負担がますます増えた。また老人医療対象年齢が七十歳から七十五歳まで引き上げられるが（五年かけて）退職後から七十五歳までの間の負担増も心配となる。

◆介護保険特別会計

介護保険は今年度見直し年度にあたり、保険料改定が行なわれる。基準となる第三段階では現行月額二千三百六十七円から二千九百四十六円、五百七十九円の値上げとなり、年額では七千円の値上げとなる。十五年度より保険料が五段階から六段階となる。



分権時代の4年間

退任あいさつ

過ぎて見ればアット言う間の四年間であった。私たち十八名は選ばれて議員となりその使命を背負って、村づくりに議論を重ねて来た。四月二十九日をもって任期が満了となる。

この間に寄せられたご意見、叱咤激励、ご協力に深く感謝をいたします。主義主張で入り口は違っても、「住み良い豊丘村づくり」の山頂の出口は、一人ひとり変わるものではないと信じています。

執行権をもつ村長と、議決権をもつ議会との関係には当然の議論がありました。又、一般質問や、委員会審議の中に数多くの提案もあり具体的な事項の実現もありました。議会だよりや、有線放送を通じてお伝えして来た通りであります。

時代は二十世紀から二十一世紀へと希望をいだいて移ったけれど、途端に日本経済は不況となり交付税依存度の高い多くの地方行政は先行き不安となった。一町村だけでは解決できない、経済の不況や、国の借金財政のツケとも言ふべき交付税圧縮が弱小町村の最大課題となり、豊丘村も例外ではありません。こうした中であって「村づくりをどうしていくのか」次期に

課せられる重要課題です。四年間を省みれば。議員定数は何人が適当か「定数問題研究委員会」を設置し二ヶ年研究、現状定数が適当との報告に、二名減の十六名とする条例改正案が賛成9反対8の多数で可決された。

日曜議会は村政懇談会での要望も有り二回開催した。正副議長選挙では、選出の過程を透明にするための立候補制、決意表明、推薦演説、投票による選出方法がとられた。

議員報酬の削減は、三月一杯二％を削減しているが、今後については報酬審議会の答申もありませんが、討議の結果任期満了であり、新議会での判断が適当とされた。十五年度議会費は、前年比定数減もあつて、六百八十九万余円が減額されている。

合併問題では「合併研究委員会」を発足しての研究結果を各家庭に配布した通りであります。議会だよりも解り易く読み易い編集に努め通算十九号の発刊となった。時に議論がかみ合わず否決採決もありましたが村当局の答弁に感謝いたします。終わりに村民各位のご健勝を祈念し、議会を代表して退任あいさついたします。議長 筒井芳夫

◆簡易水道特別会計

例年同様必要な機械メンテのほかに特徴的なものでは、新たに長沢浄水場のための取り付け道路がある。又審議の中では村民から水道利用の際、夜間などで湯沸しする際に出る付着物を心配される方がよくいます。しかしこれは人体にはまったく影響なく地下水特有のものである。郷土沢ダム論議の際に水質悪化の宣伝のために村が利用しており村民に不安を与えたのではないかと指摘された。

◆下水道事業特別会計

通常機械メンテ、維持管理中心となっているが特徴的なものは一部伴野農集排地域から林特環公共下水へのつなぎこみが一部行なわれる予定。

◆補正予算

一般会計の中では天竜川ロータリークラブからの寄付金取り扱いにつき使用方法についても有効的な手立てをとる意見も出された。南保育所改修費についてなぜ先の大改修の際に行なわれなかったのかなどの指摘もされた。

各特別会計については年度末にもより不足額の補充、各会計の予備費への充当などが中心であった。

条例審議

- 豊丘村公共物管理条例
- 豊丘村占用料徴収条例
- 特別職の職員で非常勤のもの及び費用弁償に関する条例
- 豊丘村介護保険条例の一部改正
- 豊丘村消防団条例一部を改正する条例

決議

○イラク問題の平和的解決に関する意見書の提出 採択



税金の使い方を聞きました

予算特別委員会の質疑から

三月定例議会は例年新年度予算の審議が中心に行われる。今年は統一地方選の年に当り、一般的には骨格予算で編成されるが、今回提出された予算案は通常の形で編成されており、この点に議論が集中し、更に余裕財源が少なくなる点についても議論されたが、結果は原案通り承認された。

骨格予算としなかった理由は

今年度村長選挙の年であり骨格予算として編成すべきところ政策的費用も盛った通常予算となつている点について村長は、「長引く不況の対策、一般廃棄物処理場、老健施設建設の関連事業など新たな事業への取組みと緊張感を持つて当り、村民の期待に応えたい」と答弁あつた。

十五年度 予算編成方針は

国の経済情勢が厳しい状況で地方財政も厳しい。経費の節減合理化とメリハリをもつた財政運営に努め、村の第四次振興計画の初年度にあたり、事業効果緊急性を充分検討し、効率的配分と経営意識をもつて住民要望に応えるとの方針で、総額三億六億九千二百万円、処分場関係を除くと三億二千二百万円、前年比は九七・六％となる。減額が続く地方交付税の当初予算額は平成十年約二十億円から今年十四億九千万円と約五億円の減となる。村民税、固定資産税も減収となり村税合計で五億二千六百万円で、職員等の

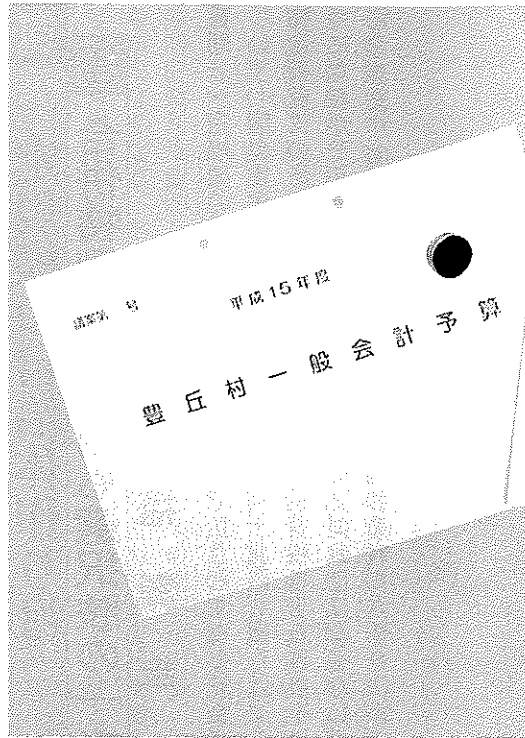
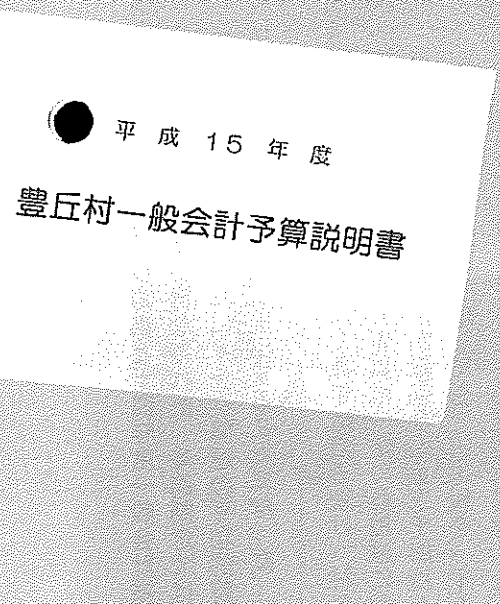
人件費の五億六千三百万円を賄えない状況となつている。

村の余裕財源の見通しは

唐沢 十四年度末の繰越金や予備費等の余裕財源の見通しは村長 十四年度末は近々特別交付税が決まってくるが七千五百万円程度と予想している。予備費が補正後二億円、不用額四千万円とみて総額三億円余になる予定である。

人件費の抑制すべき

村税収入を超える人件費五億六千三百万円、正規職員七十一名で前年七十二名、嘱託職員三十五名前年二十二名で十三名増加している。



15年度 予算書・説明書

議員歳費の引下げについては改選期となるため、現議員が新議員の歳費を決めるのもどうかとの意見があり、新議員に申し送ることとなっている。

松くい虫枯木処理 対策は

福沢 バス路線以外の主要路線の倒木の対策と果樹園等への倒木の対策はあるか。

福沢課長 主要路線の倒木については、交通の支障になるものは村の責任で通行できるようにする。危険が予想されるものについては各区への道路維持管理費での対応もお願いしたい。果樹園等については山の所有者の責任もあるの両者で処理をお願いしたい。

豊丘の水道水の風評は

北沢 地下水のチツソ含有増加や郷土沢ダムからの取水を運動することによって、豊丘の水道水は危険とか、まずいとの風評がある。安全であることのPRをすることが必要と思うが。

森田課長 現在の地下水源は基準値内であり問題はない。うまい水の基準値に入っている。ダムからの取水には魅力を持っている。

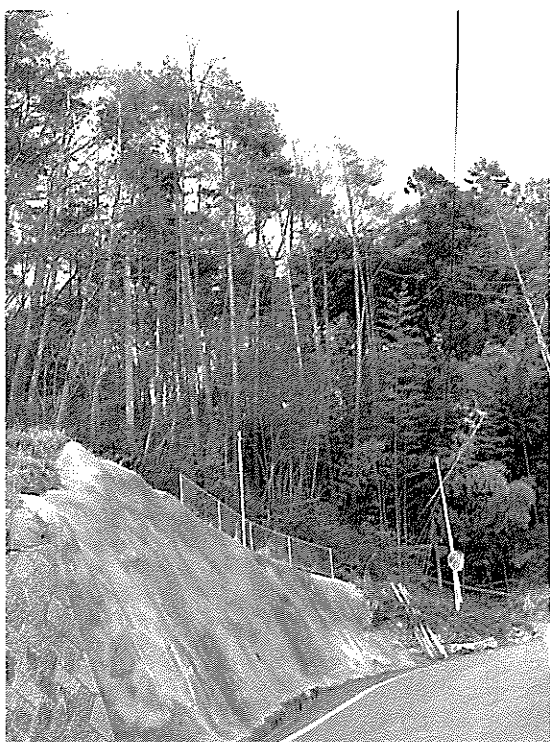
村長 道路管理者の責任としては危険の予測ができるか否かで行政責任の有無が、判例で二つに分かれている状況にある。

国民健康保険税 引上げは

ここ数年保険税の引下げを行つて来たが繰越金が大幅に減少して来ている。不況により社会保険から国保への加入が増加していること、退職被保険者の増加と合せて医療給付金が増加しているため国保の基金から三千万円繰入れることになつている。このため今年度保険税の引上げをしなければならない状況に至つているが、これについて過去数年減税をすぎたのではないか、もっと長期的視点で減税すべきではなかったかの議論があつたが、保険税増額を決める六月議会に持ち越されることとなった。

介護保険料の引上げは

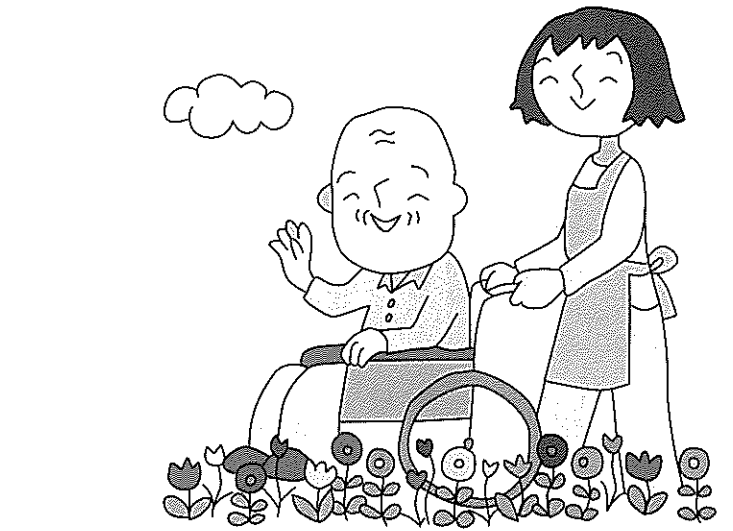
十五年から十七年度までの介護保険料について、負担を六段階に改正されたが、村民税非課税の第二段階の保険料を軽くすべきではないかの議論があつた。現行千七百七十五円で改正後二千六百五十円で月額二百九十円引上げられる。対象人員は五百十一名で三年間の総額は五百万円以上となる。これを他の階層に負担してもらうべきではないかの議論があつたが原案通りで可決された。



落下の心配な 松くい虫枯れ木

質 問

質 問



質 住民自治が失われないか 答 これからの時代を創造していく 片桐 秀人

質問 この三月議会の冒頭の村長挨拶で「見える範囲での合併を進めたい」と発言されました。今回の合併は国の財政破綻から行政コストの削減を図る目的で進められているものでバラ色の将来が来るためのものでない、豊丘村にとって合併の道を選ばなければならぬと言ふ掘り下げた検討がなされていない。合併で失なう最大の弊害は住民の声が届きにくくなり住民による自治への意欲が失われ、無関心層が増大し、中心部は栄え周辺部が寂れる。この点についてどう考えておられるかお伺いしたい。

村長 豊丘村が発足して四八年当時より道路は整備され車社会になり、情報化も進展して来ている。同時に税収不足からくる厳しさもあり、五十年後のこの

地域を考えた場合新しい組合せによつての住民の皆さんの意識改革を期待したい。

質問 総務省は旧町村単位に地域審議会を設けると言い、飯伊のあり方研究会では地域自治政府を設けるとしているが、これらは法的な位置づけがなく、予算の執行権もないわけで、村の区長会と同じで住民自治を残すものではない。村長の合併に至るプロセスを伺いたい。

村長 時代の進展の中で、今までと同じスタイルと言うことでなくこれからの時代を創造していくと言うこと。一つには覚悟の上で今より不便になる部分も当然出てこようと思うが、素直に御理解頂いたほうが良いのではないかと思ふわけでありませう。

質 一定規模の自治体作りは 合併特例債の活用も選択肢の一つ

福澤 幸雄

質問 一定規模の自治体作りについて 国の支出が税収の倍に膨らみ収支のあう健全財政はいつになるか予想のつかない状況にあります国の公債五百兆円。

五十年で払うとすると元金十兆円、金利十兆円、残りは二十兆円余。消費税を十五%以上にしても健全財政にはならない。行政に携わる者、覚悟を決めて取

一定規模の合併をして、自立出来る体制作りが賢明な策では。総務課長

一、交付税減額予想は三十%、三十五%位が分らない。加えて臨時財政対策債が0となると立ちゆかなくなる。平成二十四年度で交付税十二億円位まで下がるのではと覚悟をして居る。

二、十年間で交付税臨時財政対策債併せて八百三十七億円の差が出るのではと予想する。

三、財政力の低い町村であるので相当厳しい行政運営になるので、思いきった合理化が必要と思う。

四、合併特例債を使って橋を架ける事は不可能ではないが建設計画に乗せる必要がある。

五、それぞれメリット、メリットがある。このままでゆくと行政サービスの縮小が出る。従って十年間でも財政支援措置を受けることも一つの選択肢と考える。



一



村長への提言

質 市町村合併に対する村長の真意は 答 北部五町村の合併研究を深めたい 唐沢 啓六

質問 ①田中飯田市長は飯伊地方の合併について、「飯田市への編入合併を基本とし行政レベルも飯田市のレベルに揃えること」と発言している。この発言についての村長の感想は。

②田中市長は合併協議の申し入れがあれば対応すると言っている。本村の対応についての村長の考えは、③村長は「顔の見える範囲の合併を」と発言しているが具体的にどの町村をさすのか、④現在の豊丘村の行政範囲は極めて妥当なものである。合併すれば十一年以降合併しない場合より大巾に地方交付税が減ることとなる。合併をめざす村長の真意は。

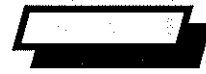
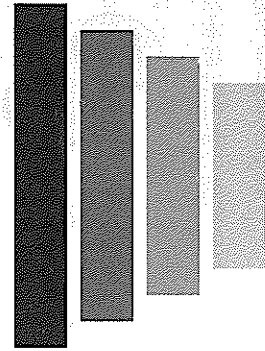
村長 ①率直に基本姿勢を述べられて良かったと思つている。②飯田市へ申し入れるより先に北部があると考へている。③北部五町村が同じテーブルの上で

研究を深めることが大切と思ふ。④今の豊丘村の行政単位、大きさが駄目ということではないが、将来二十、三十年先の夢にかけたいと思つている。

《第四次総合振興計画における高齢者対策の具体化は》

質問 ①「ケア付共同住宅」については以前から研究する方向を打ち出しているがどうなっているか。②グループホームや老所について早期の取り組みが必要と考へる。NPOへの支援も含めて村長の考えは。

村長 ①要望を耳にしていないので早急に造る計画はないが、必要な家庭が増えてくるのも事実なので引き続き研究を深めていく。②林原へ建設予定の老健施設の建設後の様子や、飯伊圏域の計画との調整が必要と考へる。



一般



質 合併・土地開発公社理事辞任問題

答 早いうち高森町へ働きかけ

筒井卓徳

質問 合併という重大な問題について、どのようなプロセスでトップとしての意志決定をされるのか。

村長 近隣町村に呼びかけて研究を深め、その中で良い具体的なものが出てくる事を期待している。

質問 本年一月発足した合併対策室は今まで何をし、今後どのような事をするのか。

村長 予算をはじめ諸行事で忙しく、何もしていない。

質問 北部町村の合併でも高森町を除いた合併では意味がない。豊丘村が率先して早急に高森町へ働きかけるべきであると考え、村長にその意志がおりてありますか。

村長 早いうちに高森町へ相談させて頂くよう段取りをしたい。

土地開発公社理事の辞任問題

質問 公社の土地売却について村長は十一月行われた村政懇談会の複数の場所で「不公平ではない」と言ったが、公社の理事会では「不公平である」と共に結果として公社の財産を七三〇万円余も少なくしてしまった事は、理事として村民に説明がつかない」と言うことで議会側から出ている理事全員が辞任している異常事態が続いています。この事について村長はどう考えておられるのか。

村長 お辞めになった理事の皆様、それぞれ考え方の違いがあるろうかと思えます。

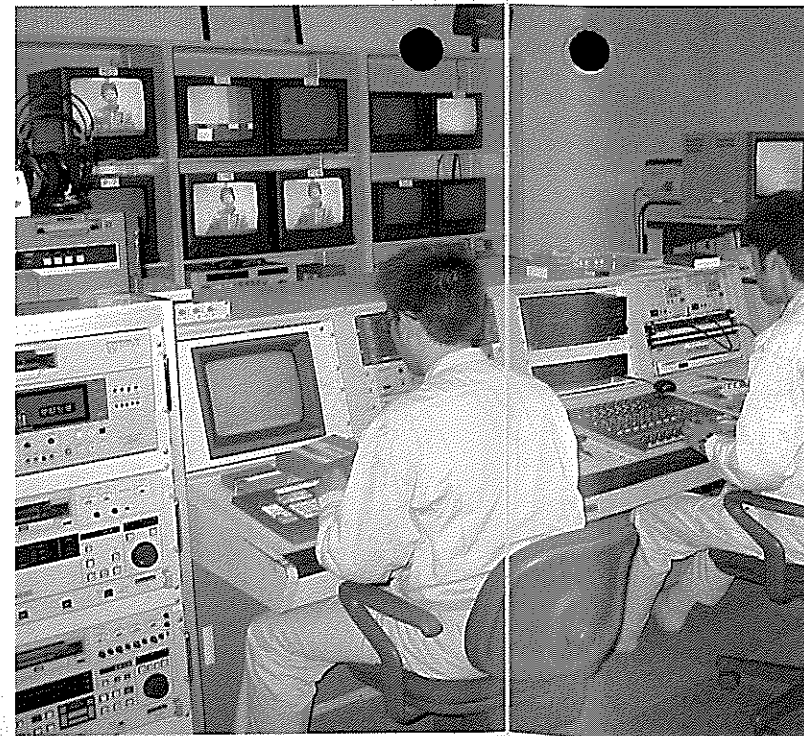
質問 公社の理事辞任問題について、その顛末を村民に周知する方法で行うのか。

村長 選挙前に広報等で行いたい。

障害者・高齢者福祉等には必要な予算を効果的に計上した。

質問 近隣町村でIT化が急速に進む中、住民アンケートでインターネット接続への強い要望を考慮し、インターネット接続施設事業を予算化した。いずれ現有設備の更新時期も到来するが将来展望を視野に入れた無駄のない実施計画が求められる。

がその実施計画内容は、課長 デジタル化検討委員会の検討もえて現有有線の同軸ケーブルを活用したインターネット接続施設を設置し住民の要望に応えるもので、近隣町村とのネットワーク化も視野に、機種やプロバイダの選定等無駄のない効果的な施設の設置を進めたい。



CATV番組編集

質

質問 平成十五年度一般会計予算案の編成方針の中で、従来にも増して経費の削減合理化とメリハリをもった財政運用に努めるとし、第四次総合振興計画を視野に入れ、一、四次振興計画

初年度にあたり、総合振興計画実施計画を基本に、社会経済情勢の変化に対応し事業効果緊急性を検討する。二、厳しい財政状況を十分認識し、限られた財源を有効かつ適切に活用し徹底

した経費の削減と効率的配分。三、住民要望に応えつつ、長期的な財政負担を分析する経営意識を持ち各種施策を積極的に推進する。としているがどこにメリハリを持たせ徹底した経費削減等がどのように具体化されたかお聞きいたします。

村長 厳しい財政運用のなか人件費が大きな課題、非常勤の各種委員の二%報酬減額と、食糧費はほぼ全面的に削減し、一方

問

質 経費削減合理化と予算編成方針は 各種委員報酬削減、福祉に効果的配分

下平豊久



南小学校 卒業式

質 三十人規模学級の取り組みは

答 補助教員の加配で行う

前沢光昭

質問 県の財政が財政再建団体寸前ということで、全体的に削減される中、福祉・教育・雇用などは実質増となった。そんな中でも特に三十人規模学級は小学校三年まで拡充ということだが、豊丘では南小学校が一年と三年が対象となる。村での対応は。

また四年から六年までの高学年についても十六年度より、市町村が希望すれば県が支援する形で実現することになる。村としての対応はどう考えていくか。

教育長 南小学校一年生両二クラスとも三十三人、三年生が三十四人と三十五人というクラス編成でそれぞれ〇・五の補助教員の加配と言うことになる。十六年度からの高学年拡大についてはその際の教室の確保について

では余裕もあり支障をきたすことはない。

質問 三十人規模学級と同様に在宅介護サービスも充実の予算となったが、取り分け宅幼小所の開設が、来年度は四十箇所以上の目標となっているが、すでに各地で要望や開設の予定があるが今後、何らかの方法で取れないか。社協とかNPOに依頼する方法もあるがどうか。

村長 豊丘についてはせっかく老健の計画があるので、実際の様子を見たいが、希望があるというのを聞いていない。そういう希望があれば社協なりに寄せてもらいたい。

要望 宅幼小所は民家を改修して安価でできる家庭と同じ環境ですごせる所。NPOの育成も考え検討してほしい。

総務

予算の立て方

本年は村長の選挙の年で、当初予算は骨格予算とし、新しく選ばれる村長が考え方を政策として具体的に予算付けする(補正予算対応)方法が行われるのが通常の手法だと思えます。

今回提出された十五年度当初予算案は骨格予算どころか予備費迄を財源として、新規事業を多く取り入れた本格予算案で、このことについて総務委員会で議論がありました。

四月まで任期の村長が本格予算を立てては「新しい村長に失礼ではないか」との意見もありました。

新規事業をたくさん取り入れた、財源の余裕のないピチピチの予算編成をした考え方について、村長の答弁は、

①大型継続事業をそのまま継続した、②一刻の猶予もない緊張感を継続する為、③新たな事業を取り込むことにより村民に期待感を現わす為、とのことでした。「理解できない」との意見がありました。これ以上の答弁はありませんでした。

総務委員長 筒井卓徳



予算特別委員会

だより

委員会



事例発表
一、地産地消に望む

組み立て

平成十五年度の土木予算は四億五千八百五十三万八千円で

一、一貫道路河野地区及び関連
一億三千万円

場所北小学校下交差点、りんごっこ公園北側です。

一、道路新設改良費は
三億六千三百万円

河野 地蔵道中芝線

堀越 黒谷線・的坂線
田村 竹の下線
林 佐原線
福島 芦川入線
壬生沢 細畑線
道路防災(落石防止) 黒谷線
補助事業 新田横断線
一、道路修繕費は
四千七百三十万円

土木予算の

経済 建設

河野 黒谷線中部会所下
堀越 中央横断線南平
田村 柿外土北村線
林 ビヤ沢線

伴野 旧県道下市場
福島 赤畑釜沼線
壬生沢 赤畑釜沼線
一、河川整備費は六百万円
田村 血取場線排水路

アリヅカ水路
林 柿平排水
一、土地改良事業は
八百二十万円

河野、伴野の四ヶ所
その他土木管理費等です。
経済建設委員長 鹿角鉄男

社会

介護保険料二十四・六%上げ

平成十二年度から始まった、介護保険事業も四年目を迎える事になり、検討委員会を立ち上げ社会委員会、議会と検討され所得の少ない人は少なく所得の多い人は多く平均豊丘村は二十四・六%上げに決まりました。

県平均は三十・九%上げで豊丘村はやや低い所です。豊丘村の介護保険は、健全な内容になって居ります。高齢者の皆様が健康に留意して下さってい

る賜物と思つて居ります。しかしながら今後介護保険事業も一層厳しさを増して来ると思いますが、千葉県に「風の村」という特養がありますが、介護度三から四の皆さんは生活を自立して皆と協力して終の人生を、生きがいのある目にかがやきのある生活を見る機会がありました。先日下伊那厚生病院の院長のお話の中に健康寿命を全うするには五十代前後から、食べ物、飲

み物、たばこに充分気を付けて、体は常に使い歩き、常に体が生きて居る状態と、体の検診は必ず行つてゆく事が十年寿命を伸ばす道だとお話がありました。健康である事は家族、村、国のためです。

社会委員長 福澤幸雄



資源(古紙)回収

当初予算 六十一億五千五百八十
万一千円を可決

南信州広域連合議会、十五年
第一回定例会は二月二十一日開

催され、人事案一件、条例改正
五件、補正予算六件、当初予算
七件、請願一件が上程され、全

議案原案通り可決された。

特別養護老人ホームの今後の
扱いについて

理事者から「特養は、郡市民
の福祉行政への期待に応える一
大政策として取り組んできたが



私の一言

豊かな丘と書く豊丘村には僕が言うまでもなく豊かな土地や自然がたくさんあります。伊那谷という世界でも恵まれたすばらしい土地の中にある豊丘村は大好きな僕のふるさとです。しかし色々な面で豊丘村の将来はとても暗い！どう暗いのか一部の例を上げてみると、みなさんもご承知のように色々な施設を作り、そのほとんどが今生かされていないという状況にあるわけなのです。なんでこうなり、なにがたりないのか僕は思います。豊丘村には文化と情報が圧倒的に足りないのです。文化や情報量を高めるにはどうしたらいい

新しい文化を作ろう

展ロックコンサートなどを呼びかけましょう。御老人の集まる部屋にサヴィニヤックの絵、すばらしいですね。豊丘村の村民一人一人が意識を高め新しい日本の豊丘村を皆でいっしょに作りましょう。

いのか？それは日本中から豊丘村へ人を呼ぶことです。豊丘村の村民だけではなにも変わりません。どこの村でも根強く残る村意識を変え村外交流を高めるのです。音楽や文学写真や演劇短歌に俳句、もう何だっついていい。高いお金を払って講演会を聞くというのではありませぬ。お年寄りから子供まで元氣よく楽しめる方法はいくらでもあります。寂れていく商店街におしゃれなカンバンを立てましょう。村から発送するリングジュースにステキなラベルを貼りましょう。定期的にこなう写真展盆栽展

介護保険制度の発足により、特養を取りまく諸情勢は大きく変化しており、民間活力の導入を「目指す事」とした。

広域連合が設置している特養は「民間委託の方向で条件整備を行う」「入所関連事務につ

ては公平・公正を期するため引き続き広域連合が行う」との提案説明があり、審議の結果了承された。

郡下の特養は、昭和四十三年赤石寮開設以来公設で阿南荘が開設以後昨年の、あさぎりの郷開設まで、公設・民設併せて、十三荘で定員は七百三十四人に至っている。

全国的には九十%が民間設置であり、この地域でも民間の開設希望がでてきた。国の制度も措置から契約へ、待機者の増加、特養を必要とする方が優先的に入所できるように改正された。

「名実共に一本化した運営」を目指してきた広域連合であったが「民間活力の導入」を目指す事となった。

委託先については、民間委託は十九年までを目標。困難な場

合は、その前段として設置市町村に十六年四月一日から委託する。現在勤務している職員は、設置市町村で対応する。

大規模改修については十三年から実施してきた「共同負担」ルールは継続する。

現在の都市二本立ての入所受付は廃止し一本とする。現在の入所待機者は九百十五人余である。

宿泊施設 伊良湖岬信州の管理運営

昭和四十八年から農文協に管理委託して来た、保養宿泊施設、伊良湖岬信州の委託先が下伊那町村会に決まった。十一年に六千万円で改修したが、七、八千人がボイダーラインとされる利用客が減少経営が伸びない方向にあるので事業解消も検討されたが償却資産もあり、町村会が委託運営する事となった。

編集後記

日々の暖かさに身につけた着る物を一枚づつ脱ぐ陽気となり、躍動する春の息吹を感じる良い季節となりました。

さて私共議員十八名は、平成十一年四月梨の花の真盛り地方選により信任を受け、四年間務めて参りました。果たして期待に報えることが出来たであろうか。評価については村民の判断を仰ぐ他ありません。

此の議会だよりがお手元に届く頃には新しい議員が決まり合併問題を含め、豊丘村の歴史の一頁を塗り替える様な非常に大事な議会が待ち受けております。新しい議員には将来に禍根を残すことなく悔いなき選択を望むものです。

最後になりましたが、私共編集委員会にお寄せ戴きました村民皆様方のご支援ご協力心より厚くお礼申し上げます。

編集委員一同

- 下平 豊久
- 片桐 秀人
- 前沢 光昭
- 菅沼富士夫
- 筒井 芳夫

広域議会 特別養護老人ホーム 公営から民間委託へ